

tsu na gu ～歴史と想いを繋ぐ新聞～

大阪府羽曳野市 キクイ印刷工芸社 菊井 孝三 社長



一番身近な人の死で学んだこと

昭和38年、今から57年前に父が創業しました。しかし、私が23歳のときに父が亡くなりました。一番身近な人が亡くなる経験で、『人は死ぬんだ』ということを実感し、父の存在の大きさ、有り難さを知り、自分もそういう在であらねばならないと強く思うようになりました。子どもは女・男・女と3人いますが、子育てには慎重に向き合っています。

家族を大事にしないと仕事もできない

私が従業員にも重々伝えているのは、『家族との時間を大切にすること』です。ご家族のお誕生日には必ず定時で帰らせてます。そして大切なのは、必ず「父親から子どもに向けて、『〇〇ちゃんおめでとう。あなたはパパとママが好き同士で生まれてきたんだよ』と愛情をもって言葉にして伝えること。そして、夫婦が仲良くいること。そのためには、奥さんにいつも感謝を言葉で伝えることです。子どもを産めるのは女性だけです。男は敵いません。

菊井印刷工芸社

〒583-0852

大阪府羽曳野市古市6丁目12-9

TEL:072-956-6881

FAX:072-956-6883

恩師から学んで今の私がある

このことを、某母子看護の先生から学びました。私の恩師です。しつけは、おしつけであること。母は24時間子どもと一緒にいて怒ってしまうから、父が成長しているところを褒めてあげるといふこと。言った方は覚えていなくても、言われた方はずっと心に残ってしまう...言葉がどれだけ大切なのかということ。男性と女性の違い。本当に沢山のことを学び、向き合ってきたお陰で、今の私があります。今も奥さんと仲よし。会社でも従業員に対して、同じベースの自分で向き合っています。そのお陰で、父が頑張ってくれた会社を継いでからもずっと続けてこれているのだと思います。

努力なしには認めてもらえない。

努力せずに、楽して認められようというのは、世間様に通りません。広く情報を得るにも、知ってもらうにも、まず自分から動かないと。ご縁はすごく大切にしています。

ビジネス関係なしにまず人として、どんどん沢山の人の人に出会って、そこで色んな気づきを得てほしい。まず、僕のことを好きになってもらうには、僕がそういう人間にならないと。ファンづくりやね。好きになったでしょ？笑



――そう笑顔で話す菊井社長。沢山の人が慕う理由に納得。本当にためになりすぎて何時間でもお話を聞いていただけます。是非パートナーシップ講義開催してください！

※更新に空きがありましたこと深くお詫び申し上げます。